（日刊）　明治四十年十一月十五日　京城新報　（金曜日）　第六號　（一）

京城新報

發行兼編輯人　山下英爾
發行所　京城新報社　電話十六三

論說

韓國の拓殖（續）

東京高等商業學校教授　瀧本美夫

思ふに土地を小分して邦人に賣渡すことは資本を早く回轉せんとする會社に取りては恐くは最も喜ふ所なるべきも移住小農の資力は實に土地を購買し能はさるべきのみならず多くは開墾作業中の食料及小屋掛料等を負擔するにも足らさるべく或は時として内地より韓國に赴くに要する旅費にすら窮して會社より前貸を受けざるべからざる者もあるべし此故に多數の中には初より土地を購買せんとする者もあるべけれとも大多數は此くの如き資力なき者と見さるべからず況んや資力ある者は通常韓人より既開墾の熟地を購入するを便とすべきに於てをや此故に土地を賣渡すてとは原則としては行はれ難きてとなりと云ふも不可なかるべし次に土地を小作に附することは果して内地人を韓國に導く程强き誘引力を有すべきや甚だ疑はしと云はさるべからず勿論北海道に於ては數年前迄は小作人を得るに困難したるに反し今は内地人の移住する者甚だ多く毫も其困難を感せすとのことなれとも韓國と北海道とは多少其關係を異にするを以て誘引力如何は一の疑問なるのみならず國民の發展を企圖する上に於て小作人のみを増加することは遺憾ならずとせず故に上述の二法は共に未た吾人の希望に適ふ能はさるなり若し夫れ「レンテン、グート」に至ては毎年一定の金穀を會社に支拂ふことを約せしむるのみにて殆と完全の土地所有權を小農に與ふるものにして只其土地を賣買讓與する時及之を分割する時會社の承諾を求むるを要するのみなれば小農移植には極て適當の方法なるが如しと雖も一定の金圓若くは穀物は未來永久に之を納付せさるべからず若し此の義務を免かれんとせば一時に少くも二十五年分の金穀を納付せさるべからず是れ未だ「レンテン、グート」制度か十分に吾人の希望に副ふ能はさる所以なり吾人の見る所を以てせば拓殖會社が年賦支拂の方法を以て土地を小農に賣渡すことを最良の方法なりと思爲す而して此れ必しも行ひ難きことに非ず建物に就ては既に東京建物會社に於て之を行ひし例あり又土地に付ては北海道に於て二宮尊親氏の主宰する興復社の既に之を行ひつゝあるあり同社の規定によれば開墾作業中の食料、小屋掛料、道路橋梁排水の經費等を償却する爲め開墾者を以て開墾後三年目及四年目の二ヶ年は一反に付五十錢又其以後十三年間毎年毎反七十錢の割を以て都合十五ヶ年間納金をなさしむ之を皆納したるものには五町歩（北海道に於ける一戸の配當地積は五町歩なり）の土地を無償にて與ふるものとす蓋し興復社は即ち有名なる二宮尊徳の一家が今に至る迄主宰する所の結社にして營利の希望を有せさるものなれば其方法を移して營利を目的とする拓殖會社に行はしめんとするは懸論なるか如しと雖も若し會社にして多くの利益を貪らざらんには單に年賦支拂の期限を興復社の場合よりも延長することと年賦金額を少しく増加することによりて能く目的を遂し得るは疑を容れさるなり思ふに少き經費を以て大なる効果を擧げ會社の利益を完ふすると同時に農民の便益を圖り得ると否とは一に經營者の手腕如何によりて分るゝ問題なり吾人は拓殖會社の當局に適當の人物を得て一には我國民の平和的發展を促進し二には有事の際韓國をして物資供給の一大源泉たらしめんことを切望する者なり

仁川 本年の金融及商況（二）

（商業會議所調査）

六月は例年の如く夏期閑散の候に向ひ貿易額も幾分ゝ減少を來し白米の大連方面への輸出稍々活氣を呈したるの外商況概して捗々しからず故に商業資金として需用増加したるものなしと雖も七月となりては米穀は前月以來引續き内地相場の好況なるため三井物産竝に内地商人の來仁買占めを爲して横濱、四日市、神戸、土崎等へ相應に輸出行はれ斯界稍活氣を呈し此方面に於ける金融は多少繁忙を告げ輸出の増加と共に銀行に於ては在庫米は減少一方にして月末に至ては各地よりの廻米多からず前月に比して約十五萬圓の減少を見たり輸入も亦前月に比し稍不振にして一般の商況は例年とも沈靜の時期なるを以て輸入品の賣行も概して好況ならず金融自から緩慢なるを免れず殊に仁川八號地の大火あり且つ京城に於ける暴徒事件ありて小賣商の不振、勞働者の缺乏廻米の減少を來したるやの懸念なきにあらざりしも何れも一時的の影響に過ぎざりし八月となりても一般の商勢は輸出入とも不振にして輸入品の賣行も韓盆前にて幾分か引立ち來りし樣なれども大体に於ては不振なるを免れず穀物の輸出も前月の好況に比して大に寂寞の感ありしが大連向輸出は引續き相應に行はれ地方よりの廻米も弗々之れあり殊に麥粉入荷稍盛にして取引は活潑と云ふまでには至らざりしも各銀行とも相應の額に上れり然れども商取引の閑散は資金の需要を喚起するに至らず唯だ第一銀行に於て客月來成立を告げたる仁川金融組合への貸出ありしため相當の繁忙を來したるも這は特種の事情に屬するものなれば大勢に至ては依然緩慢の状態を免れざりし先般來本邦に於ける金融界の變動も全く解散され同時に當地各銀行の貸出も亦緩和せり唯だ過般來各地に出沒する暴徒のため地方商業の發達を阻害すべき憂慮ありと雖も未だ當港の金融には商況の上に大なる影響を來さゞるが如し追々韓盆に近かば韓人向商品の賣行はれ多少増進するに至るべく又新穀の出廻はりを見るに至らば市況活潑を呈するに至るべしと雖も夫れまでは先づ現状を維持し其間別に資金の需要を喚起するが如き事情なかるべし

九月となりては韓盆前一時稍市況の賑ふを見しも盆後再び不振の舊調に復したり米穀類は端境季に拘はらず尚は相場の好況を持續したる爲め内地及大連行共相應に輸出を見しも諸雜貨類の賣行期節に近づきたるも地方暴徒に懸念して韓商兎角仕入扣ねの氣味あり本年豐收に對する一般の期待に反するものゝ如し然れども輸入雜貨は追々賣行の時期に際したれば漸次輸入増加の傾向あり本年の豐收確實となりたれば韓人の購買力は之より漸く増進すべきを氣構へ人氣稍引立來れり（完）

十月中の商況

商業會議所調査

●●白玄米　石に付き前月より三十錢方下落したり然れども昨年よりは不作にて出廻少きため稍や活氣を呈せり

●●日本酒　賣行は菊正宗第一を占め白鶴等之に次ぐ何れも前月よりは一樽に付き一圓以上の高價を示せり時候柄賣行良好なるも本月は惡疫流行のため比較的不振の状態なり

●醬油　今回仁川に日本醬油株式會社を創立し十月廿日より開業專ら勵精して從來の内地輸入品を杜絶せしむるの見込にて韓國各地に向け販賣しつゝあり

●●大小豆　順次出廻り多きに比し望人少きため追日下落の有樣を呈せり

●●大小麥　地方より出廻り少きため相場依然變動なく賣買手合稀薄を呈せり

●●金物類　亞鉛板は非常に賣口宜敷八尺浪板の如きは品切の有樣なり鐵板の如きも目下賣行良好殊に薄物は一層賣行宜敷爲め京市中商店とも品切の次第なるも當店にては幸に持合せ充分なるより目下好況を呈しつゝあり

●●明太魚　時候柄好期に向ひ賣行前月よりは好況を呈し居れり

●●硝子板　需用季節に向ひ前月より氣配を保ち追日强氣の見込を呈しつゝあり

●●金物類中　半鐘の如きは月を逐て賣行良好にして昨年よりも同期に比し五歩方高價を示せり之に反し洋鐘の如きは昨年同期よりも五歩方安價を示せり

●●洋酒類　は日増需用者多く輸入も從て増加を示せり殊に（シャンパン、ブド酒）に至りては賣行好況なるも相場に於ては前月と異動なし

●●金巾類　に至りては本月より需用季に入り幾分の賣行を見るに至れり何れ農業收穫後に至れば追日好景氣を見るならん

●●和洋紙　値段は前月と異動なきも時候柄日韓人向の需用多きため前月よりは幾分か好況を示せり

●●●●ペイント並に油類　値段は前月も變りなく各建築其他塗仕事多き爲め大に活氣を呈し從て賣行好良なり

●綿　綿は愈々需用の最盛期に相成り賣行非常に好況に付き原料棉花の下落に不係氣配堅く保ち合居れり

●繰綿　綿は産地相場大に引締り來れり然れども銀塊の大暴落は對清爲替の騰貴となり市場は一上一下高低定からず亂調子にあり乍併此邊最早低直と見て可ならんや本年末だ氣候の温きと農繁期との爲め賣行捗々しからず

●落綿　は價額此邊最早頂上と見て可なれ共目下需用季節にも有之且つ有荷も存外少數なるを以て一般に强氣今の姿にては品に依り引緩みたるもの有之候

牛庵雜記

黑法師

小人閑居すれば不善をなすと云へど、狗子佛性の語もあれば、我等の獸想も强ちすてたものに非ず。殊に秋去り冬の夜の時雨木の葉を叩く音を聞き、孤燈に對して跪坐すれは端嚴の氣自ら身を壓し來る。茲に至りては中懷在る處のもの善に非ず、惡に非ず、空々寂々として果ては己の存在をも認めざらんとす。縱令よく〳〵の俗漢にして境此に達することは能はずとするも猶は彼が想念は、一種清爽の氣滿つることを疑ふべくもあらず。之れ洵に冬の自然か人間に下す恩惠に非ずや。

土くれを佛に拜む冬籠
世をすねて女もすなり冬籠
此頃や經讀みそめて冬籠

小說

紘のみだれ（四）

永井櫻國

『朝から泣いたりなんかして縁起惡く思ひなさらうけれど、どうぞお師匠さん堪忍して下さいよ。』

と、お縫は探てから清糸の縁起取と云ふ事を知つて居るので、先づ斷ら斷つて、

『實はねこれまで、話してお願ひせうかと思つた事が幾度有つたか知れないですけれど、ツイ賴み惡うて言はないで了ひましたが、モウ辛抱が能なくなつたもんですから、それで什麼早くからお願に上りましたの。』

『何を奈何するさ云ふのか知らないけれどマア早く話して御覽よ。』

『いゝ何外な事ちやないんですが、實は斯ら云ふ理なんです。』

と、言惡さうな態度で、

『あの……これまではお師匠さんにもお友達にも皆な秘して居りましたが私の親は兩人とも私が生れて、二三年經つと流行病とかで歿くなつて了ひまして、目今のは養父なんですの。』

『マア、目今のお父さんは養父なのかい』

と、師匠は意外らしく辭を狹むだ。

『は、眞個は赤の他人ですの、だもんですから御酒さへ頂けば、二言目には生の親より養育の親で、育てゝ遣つた恩を忘れるなどか、お前を貰つて育てたのは、一時も早く甘い寢酒の一杯も飲まうと思つて育つたとか、苦しい中から義太夫の稽古を爲せるのは、左團扇か使ひたいからだが、大きくばかりなつても何の足にもならないとか、モウ〳〵一つ機嫌を損へば三時間でも四時間でも小言を續けるのですから、其度毎に寧ろ死んで了はうかと思つた事が、幾度あつたか知れやしません、昨晩なぞも一度買つて來たのを頂いて了つて、また買つて來いと言ひますから買つて來たんです、するとそれをチビリ〳〵飲んで、到頭また頂いて了つたのです、するとまた買に往けと云ひますけれど、其時はモウ十一時過であの寒さだもんですから、酒店は疾に寢むで了つてるんでせう、それに第一翌日の稼業があるのに、那樣に澤山頂いて路体に障つてはならないと思つて、モウ酒店も寢むでるし、身体のためにも宜くないから、今夜はこれで辛抱なさいツて云ひましたら、それから怒り出して、到頭三時頃まで百萬陀羅の言通して、終局には十六にも七にもなつて七年八年稽古しながら寄席に一つ罷り出ないで、親の寢酒も買う力が無いやうな奴は、首でも縊つて死ん了へツて云ふのです、泣くにも泣かれないほど、腹が立つて、身体がブリ〳〵するけれど、しかし又考へ直して見れば、眞實の親ぢやなし、私を小さい時から育てゝ下さたのは、些とも早く樂がさしたいために義太夫の稽古もさして下れたんだらうするに、この年になつて未に一錢の金子も儲けないから、お父さんの言ふのも無理は無いこりやれ師匠さんに願つて設令五錢十錢でもお父さんの助けが爲て上げたいと、斯う思つて上つたのですか、お師匠さん、どうぞ私を助けると思つて、モウ今年と云つても幾日もありませんが、來年の正月から何處の口語にでも宜いから寄席へ出られるやうにお世話を願はれないでせうか、願へるものなら後生ですから出られるやうに爲て下さいませんか。』

と、一伍一什を語つて賴むだ。

京城新報

市街の面目を一新せよ

泥峴は韓京市街中目拔きの場所を以て稱せらるゝ其人家の櫛比せる、商家の殷盛なる差し之を本邦有數の名都に比するも敢て遜色を見るなし、只吾人をして、常に遺憾の念に堪へざらしむは、其今日の如く居留民の增加と、居留地の發展とが、日を追ふて盛なるにも拘はらず、其道幅の狹隘にして人道車道の別なく、雜沓混亂、實に名狀すべからざるものあること是れなり、固より移住當時の狀勢上より自然今日の如き觀を呈するに至り、又之が俄かに道幅を擴大するに於ても多大の費用と、鮮なからざる手數とを要するものあるより、遷延今日に至りたるならんも、何れは早晚之が實行を期せざるべからざるものあるを以て、吾人は其一日も早く實行の運びに着手せられん事を望まざるを得ず、而も今や確に之が機運に向いつゝあるの時に非ずや

殊に過回我東宮殿下の行幸に際しては其雜沓混亂の狀實に譬ふるに物なく、熱誠なる我在留幾萬の奉迎送者をして、親しく拜觀の榮を得る能はざらしめしが如きは、是れ偏に其道路の狹隘なる結果に歸せざるを得ず、思ふに新協約の成立は韓國內外の施設經營をして益々改善更新の域に進めしめつゝあるを以て、今後內外の貴賓珍客の續々として韓を狂ぐるもの少なからず、從つて是等市街の不体裁と、道路の狹隘とは以て啻に當時の雜沓と不便を來すのみならず、一般居留民の面目にも關するを以て吾人は急早に之が實行の期に至らんと望むの情切なるものなり、又往々邦人居留地の間に韓人の居を構ふるもの之散見するは、是れ甚だ市街の面目上面白からず又韓人の常として、一般衛生の思想に乏しく、其不潔なる殆んど言語に絕し、惡疫傳播の原因ともなるべきものあるを以て、是等はよろしく土地買收法の下に驅逐する方針に出でざるべからず、若し夫れ其道路擴大の方法に至つては吾人は近日を期し、大に論述する處あるべし。

實業家に警告す

今やロンドン及ニユーヨークの金融市場は空前の逼迫を感し經濟界は一大恐慌に見舞はるゝに至れり、由來資金の潤澤を以て誇るところの英蘭銀行が貸出利率を七朱に上せしは二十四年來曾て無きところにして此一點より見るも今回の恐慌の非常なるを察するを得べし

思ふに資金の融通上將貿易上に於て英米市場の支配を受けつゝあるところの本邦經濟及金融界が面白からざる影響を受くるは數の免れざるところなり

ロンドン、ニユーヨーク、東京大阪……の次に韓國金融界にも其波動は來るべきなり

實業家諸氏殊に不動產に資金を放下しあるところの諸氏は戒心一番暴風の襲來に備へざるべからず

露國紙幣

北韓に於ては露國紙幣今尙跋扈して第一銀行券甚だ振はずと云ふ、經濟上政治上甚だ面白からざる現象なり、是第一銀行の不利益なり是吾國家の不利益なり。

一進會に入らずんは暴民に加ふ

時勢を謳歌するもの曰く飢餓漸く身に及ぶ一進會に入らずんば暴民に參加せんのみ、憂ふべき民心ならずや。

韓軍隊と暴徒

暴徒の起來は軍隊解散の落武者なり今や北賊を制するに韓軍隊を以てするが如きは如何なる因果なるや、知るべし征討の途に上れる幾百の韓軍隊は行く行く逃亡して暴民團に參加せりと。

韓匪を討伐するの大權は、委任されて我軍司令官に在り、我軍隊にあり、之を討伐し難きに非ずして只だ未だ討伐し盡くさざるにあるのみ、今の時に際して韓軍隊の討伐發派は是れ暴民團に追放せると均しきのみ

東京電報

日韓瓦斯委員撰擧（十三日發）

日韓瓦斯株式會社は滿株となりしにつき創立委員長澁澤男爵外常務委員其他を選擧したり

大演習區域（同上）

今回の大演習は二縣十一郡に亘り決戰地は鬼怒川流域の小山、栃木、古河、結城附近ならん

雜報

太皇の皇帝訪問

太皇帝は本日昌德宮に行幸あらせられ一昨日還宮あらせられたる皇帝を御訪問御對顏あらせらるゝといふ因みに記す昌德宮は明治十七年變亂の際國王としての王宮にして亂後景福宮に遷御せられ次で現慶運宮に移御せられたるより二十四年間一度も行幸なかりしかば本日の行幸に就ては嘸ぞ懷舊の情に忍はせらるゝならんと察し奉るなり

統監大將の參內

伊藤統監は昨日午後四時十分長谷川大將は午後四時十五分昌德宮へ參內洋式門より入り熙政殿に於て皇帝に謁見あり還宮の御見舞申上げ宮殿內巡覽の後同殿に居ませられたる皇太子殿下と共に樂善殿なる皇太子宮に趣かれ其隣殿に於て三鞭酒の饗應を受けられ午後五時三十分退出せり

安洞別宮域擴張

太皇帝には今回安洞の別宮に移御せらるゝことゝなり目下修理中なるが現在の別宮は宮域甚だ狹隘なるを以て更に附近の民家を買收し取擴ぐることゝなり目下買收中なりと云ふ

●宮內官吏の勵精 小宮次官及井上書記官等は今回の還宮につき一切の準備を成さんが爲先月來日夜府務に鞅掌し聊かも遺漏なからしめたりと傳へらる

韓國の暴徒

現今韓國各地方に於ける暴徒に就て觀察するに其起原は軍隊の解散と皇帝讓位とが其重なるものにて江原道原州に於ける解散兵が率つて暴動を起したると同時に忠清道の北部に於ても之れと相應して蜂起せり此等の黨類は解散兵と其地方の儒生にして其區域は江原道及び忠清道の北部にあり之を第一期暴徒の起原にして既に其討伐を終り更に忠清道の全部、慶尚北道、全羅道に起りたり此暴徒も亦た不平者、軍隊及び無賴漢等加はり居り之れが動機となりたるは討伐隊の爲め已が住家を燒かれたると一種の事情あると亦政治上の系統を有するものにて彼等が行動の日本人にのみありて韓人に危害を與へざりしに見ても知らるゝなり之を第二期の暴徒として即ち討伐を終りたるものとして見るべし目下平安北道、黃海道の東北にあるもの京畿道廣州、抱川、楊州、楊根等にあるものは第一二期の殘黨と北韓國境に於ける支那馬賊の中に加はり居りしものにて平安北道、黃海道の東北にあるもの即ち夫なり之れが首領は有名なる柳麟錫なるものなり又た京畿道にあるものは政治上の系統あるものにて其指揮者は京城にあるや疑ひなかるべし即ち平安黃海方面の暴徒が馬賊たるべきは日韓人の別なく掠奪を恣にするを見ても明かにして純然たる山賊の所爲たり京畿方面乃ち京城に接近し抱川楊州附近にあるものが政治上の系統あるは其行動に徵して明かなる事實なり今や彼等は柳麟錫の率ゐる馬賊と通じ所在を掠奪するに至りたるを以て日韓共同の自衛團を組織せらるゝ如きは即ち暴徒が政治上の系統あるものと山賊と合したること明かなりと云ふべし之を要するに目下の暴徒討伐は即ち第三期にあるものとす其系統は政治上の意味を有するもの、一種の事情より起りたるもの及び山賊の三分子より成れるものといふを得べし

暴徒益々猖獗

榮川分派所の通報によれば十日午前八時中角石の率ゆる暴徒三百餘名奉化を襲ひ官有家屋に火を放ち全村を燒棄せり榮川守備隊は警察官と共に急行して賊に多大の損害を與へ之を其北方古直嶺以北に擊退せり又十一日午前七時李康年の率ゆる約三百名の暴徒は永春方面より順興を襲ひ官有の建築物及民家百八十戶を燒棄し永春郡に引返せり榮川守備隊長は進擊中暴徒は益々猖獗を極め奉化順興豐基附近甚だ不穩なり

暴徒市場を襲ふ

忠州在勤の泉警視は秩序回復上必要を認め昨日忠州部牧溪に於て臨時市場を開かしめたるに午後六時多數暴徒の襲來を受け巡查二名行衛不明となるよつて午後十一時野々部警部以下巡查六巡檢五守備隊に附し急行せしめたり

暴徒富平驛に現はる

富平驛を距ること北方二里吾亭面に去る十一日五十名餘の暴徒現はれ金品の掠奪を恣にしたりとの情報其筋に達したり

素砂附近暴徒と警官派遣

去る十一日の夜素砂驛を距ること五里安山郡入坡及び無谷の兩洞に多數の暴徒兇器を携へて徘徊し危險極まりなしとの急報頻々なるを以て仁川警察署より巡查四名一昨朝（十三日）出張したり

大討伐の結果

五日我守備隊及び警察隊は洪川、砥平、春川の各郡に集團せし暴徒を潰走四散せしめたり此戰鬪に於て敵を殪すこと三十八且つ多數の負傷者を出さしめ賊の巢窟家屋六十六及糧米貯藏所を燒き銃彈若干を鹵獲す我に死傷なし

全州方面の賊

過般全州高敞邑に襲來せる賊徒は在留日本商人の店舖を襲ひ小林增太郎青木孝三郎の三名を殺害し死屍を邑外の河中に投じ賊の死体三、銃器十點雜品若干を遺棄あるを增田警視の發見したり尙邑民の言によれば賊徒の負傷十餘を出だせる由にて邑民の大部分は一時避難せしも三日以來續々歸來平穩に歸せり

匪徒首領の檄文

忠州匪徒の首領なる李明相なる者より忠州の宣諭使李舜夏其他の官廳に對し長文の檄書を發せり其の要に曰く暴徒爆制の使命を帶ぶる宣諭使は果して國君の命に出づるものなるか將た統監大將の命令に出づるものなるか彼の兇賊を殲滅し國仇を報ずるは我國君の意志にして又市民の忠義心に基く當然の行爲なり漫に仇敵の鑾制によりて宣諭使と稱するは極めて乖悖の事なりといふにあり

●江華島守備引揚 江華島には過日憲兵を配置されたれば同島守備隊は引揚ることゝなり海州守備隊と交替し海州守備隊は安來丸に搭し同地を發し明十六日仁川港に上陸する筈なり多分開城に向ふならん

暴徒討伐韓兵の逃亡

地方に於ける暴徒討伐の爲め或る方面に派遣されたる韓兵は途中より續々逃亡しつゝありと又た在京の同兵も討伐に派遣せらるゝの恐を抱き逃亡を企つるものありとの說あり

●京城居留民會 京城居留民會は一昨夜午後六時三十分民役所に於て開會京城居留民汚物掃除賦課徵收の件漢城病院諸料金徵收規則改正の件に關し種々打議の結果委員附托となり曾我勉、針本條次郎、濱野德次郎、中村才造、中島司馬之助の五氏を委員に撰定し九時過ぎ散會し昨日は早朝より民役所に於て委員會を開きたり因に汚物掃除賦課豫算等は歲入經常費一万五千六百九十八圓七錢にして漢城病院機械購入諸費其他は一千二百十二圓十二錢なりと

●本日の仁川民會 豫報の如く本日午後四時より佛國敎會堂下十地交換問題に關し民會を開く筈

京城青年會館の上棟式

建築中の京城基督敎青年會館の上棟式は昨午後二時三十分鐘路の韓美電氣會社の隣なる半ば落成せる該會館の樓上に於て開かれたり會するもの二百名位に過ぎざりしも在京城の日韓清歐米人の重なるものを集め殊に歐米婦人の多かりしは最も人の目を惹き場內何となく異彩を加へたり二時三十分となるや伊藤統監は村田、岩倉、岡等の文武官に擁せられて着館あり次で韓國皇太子殿下韓國の文武官を從へて來臨あり衆起ちて之を奉迎して着座あるや崔炳憲先づ祈禱を捧げ次で青年會長ターナー主敎の上棟式開會の演說終るや主敎は皇太子殿下と伊藤統監とに上棟式を乞ひしかば皇太子先づ延を執り次で伊藤統監鎚を執りて起ちたりと見るや劉喨たる樂聲裡に光榮ある尊貴の手を下し玉ひし上棟式は終りたり其れより主敎の韓語にての祈禱あり祈禱終ると伊藤統監の演說あり、李商在氏の長き答辭あり駐韓米國總理事のサーモンス氏の簡短なる答辭あり尹致昊之を韓譯して此に式終らんとするや皇太子殿下の還御あり次で伊藤統監も退場されたれば衆又退散して此に目出度上棟式を終りたり

余は此記事を經るに際し特に二個の目出度紀事を附記するの光榮を有せり

▲皇太子の執筆 皇太子は上棟式の手を下して席に復せらるゝや主敎の乞に伊藤統監の硯を執りての勸めに依りて莞爾として筆を執り玉ひやさしき指より一千九百七年の六字は最も鮮明に又最も雄渾に書き出されて主敎欣然として之を拜受し衆に示す衆拍手して其光榮を謝し殿下の勇健なる筆を感呼す

▲一場の天眞流露 皇太子殿下を擱かるや直ちに椅子を離れ微笑を含みつゝ席の下に在りし主敎の愛らしき息子二名の手を執り侍臣を顧みて其姓名年齡を問はせ玉ふ伊藤統監も此天眞流露の狀に促されて起ちて皇太子に握手を勸めしかば改めて其兒と握手を交はし玉ひ無邪氣の態度滿場をして艷ねす天眞流露の御氣性を感呼せざるものなし殊に歐米婦人は醉ゐる如く感呼して已ざまりき

●對清貿易不振 銀相場下落の爲本邦より清國に向けたる荷爲替は何れの銀行も取組に應せざるが爲對清貿易は目下悲境に陷りたりと云ふ

郵船の北清航路

日本郵船會社の北清航路は從來横濱を起點として馬關、門司、仁川を經て大連、牛莊、芝罘、太沽に航行せしが最早冬季となり太沽、牛莊は結氷するを以て他汁定期航海は横濱を起點として神戶、門司、仁川、大連に航行し復航は大連より馬關、坂神、横濱に歸航し仁川には寄港せざることゝなれり

●仁川の道路開鑿 仁川敷島前巡查派出所横より扭峴停車場に通ずる道路を開鑿するべく目下地主側に於て協議中の由

●病院建築委員會 仁川病院建築委員會は本日午前中に開かるゝ筈

●伊藤公の嗣子改名 勇吉氏は今回博邦と改名せられたり

●岩崎海軍少將 宮岡少將の後を襲ふて統監府附武官となりたる元海軍省艦政局長岩崎達人氏は昨夜來着せられたる筈なり

●鈴木主計大監等の入京 鈴木海軍主計大監、齋藤同大監、中村中監は事務打合せの爲め再昨日入京鈴本中村兩氏は鳥居通譯官邸へ齋藤大監は浦尾旅館へ投宿せり

●横山孫一郎氏 氏及令夫人は目下統監官邸に滯在中なり

●藏原博士 哲學博士藏原惟郭氏は目下浦尾旅館に滯在中なり

●富田仁川民長 富田民長は昨日上京午後二時龍山井口中佐の葬儀に列し即日歸仁せる筈

●曾木重高氏 平壤新報を辭し當地へ歸城せられたり

●野口一銀赴任期 仁川第一銀行支店長野口源三氏は今回本店詰に榮轉せる事は既報の如くなるが同氏の赴任期は西村大阪支店副支配人が平壤支店に赴任し同支店長太田氏と事務の引繼を了し太田氏が仁川に來任するを待つて出發する豫定なるに依り多分來月中旬頃なるべしと

●在米韓國學生 目下在米韓人留學生は一百三十餘名にして其內大學生六名ありと云ふ

●古賀中佐の後送 前憲兵隊長たりし古賀中佐は去る九月韓皇即位式に際し警邏中落馬し負傷したるが今回轉地療養の爲め廣島へ後送せられ來十八日出發の筈

●松江副官送別會 松江副官今回第六十二聯隊附に榮轉し不日赴任の途に就くべければ富田民長を初め仁川港の知人四五名は送別のため明日午後六時より當地朝日樓に於て小宴を催す筈なり

牛莊、上海に於ける恐慌

銀相場下落の爲牛莊、上海の經濟界に一大恐慌を起し巨商にして破產に瀕せるもの數多ありと云ふ

關東州金產地

一、袁家屯 普蘭店より貔子窩に通ずる街道の一村にして產金地は村の南方七八町の丘陵にあり六年前露國人が採掘を始めしが戰役後中絕せるものにて目下日本人の出願者あるも都督府私有財產整理委員會は露人の占有權を確認したるを以て許可を與へずといふ

二、扯家屯 同上街道普蘭店驛の南方約四里に在り十餘年前の發見に係り一時五百餘名の採金者集まり盛況を呈せしも近年は近村の農民耕作の餘暇採掘するに過ぎず砂金を目的とせば可なりの利益あらん

三、梅家屯 三十里堡驛東方二里の地にあり戰爭前は露人が淘金を試み居たり比較的產金に富み地下數尺を採掘するを可とす水流も近きにあり

四、長嶺地 二十里堡驛の東一里にあり排水工事に要する需用多額を要し營利的事業を營むに適せず

五、趙家屯 長嶺地の東一里にあり含金量多きが如きも地下に深く沈積せるを惜む

六、衣家屯 趙家屯の東一里にあり都督府吉田技師探險の際溪流中三ケ所に於て一尺立方位の土砂を採り淘金したるに粟粒大の金粒五六個を得たりといふ流域小なるも相應に望ありといふ（未完）

▲治外法權

一昨日の御還宮もまづ無事に濟んで御目出度事であるサシツメ大宮司の役たる吾統監殿にも安心せられたことゝ思ふ▲永年御部屋住に在しました御方が急に一家をお持ち遊ばされたこと故今頃は嘸暢々と息をつかれて居られるであらうと思ふ、併し翻て考見れば現皇には到て御孝心深き御方であるから父皇の御心中を察せられて眠食を廢せらるゝ樣な事になるかも知れぬ、それこそ大變又逆戻りの御沙汰が降らぬとも限らぬ▲伊藤は男の實子がないから伜に對する父の情は解からぬとはいへ今頃太皇の御口より洩れシウナ言葉である▲伊藤公には實の伜は無いが勇吉君と云ふ立派な養子がある其勇吉君が今度博邦と改名に及んだ勇吉君の改名は何の必要から來たのかは知らぬが或は父公爵が隱居せられて家督を同君に讓らるゝのではあるまいか併し家督は勇吉君に讓て夫で濟むかも知れぬが統監の役目はまさか御養子殿に讓る譯にも行くまい▲功成り名遂げて大森に逃ちたる恩賜の御殿に陣取り大御所樣に威濟ますんと は公の現在の目算かは知らぬがソウは問屋で卸さぬのである▲曾て湊川に立ちたる公の銅像が今は神戶港の碇泊船操江號の庫中に隱してあることは公も御存知であらう▲此銅像を再び世に出し悠々天日を仰がしむる爲めには此上一層の御奮發を要する▲新協約位にて大御所樣とは甚だ虫の良いことではある

●井口中佐の葬儀 過日逝去されたる井口砲兵中佐の葬儀は昨日午後二時より龍山本願寺に於て莊嚴なる葬儀を執行されたり[illegible]五十一聯隊長熊谷、富田京仁民長、岡村龍山建設部長、村上警視及び龍山の官民新聞記者等にて儀仗兵として五十一聯隊の第二[illegible]

任統監府屬（五級） 澤永彥四郎
統監府屬 任領事官補 敍高等官七等 池邊龍一
（十一月十六日）

●入田氏の[illegible] 時計時辰儀入田宗作氏[illegible]

ゝありしが近々脫稿上梓せらるべしと云ふ

課長、岡崎師團長、村田、明石兩少將五十

●統監府叙任辭令

任統監府警視 叙高等官七等（十一月十六日）

●久田氏の著書　時事特派員久田宗作氏は昨年來韓國に關する著書に從事せられつ

雜報

仁川だより

通信員

胡沙吹く風冷かに韓野の天地轉々蕭條の感に堪へず、殿下親むべきの候、我仁川の租界倉々之れより多事ならんとす、吾今仁川たよりを草するに當り多少の感慨なしとせんや

築港期成同盟會死せるか

仁川港灣の不備は吾人今茲に縷々の言を要せず、而して此れが改築の議は既に仁川の輿論となし元伊吹山會頭を委員長として組織されたる築港期成同盟會は常に輿論の中心として活動の歩武を進めつゝありし事は遍く人の知る所なり、然るに同委員長が此地を去りし以來、同會の消息沓として聞かさるに至れり今や其存在をすら忘却せらるゝの狀態にあり、吾人は當時同會員諸氏が或私財を拋つて迄我仁川大問題を解決せんとして蹶起したる勇氣と親切とを賞嘆せりき、然るに今や當時の意氣何れにか消ね失せて解散同樣の狀態に立至りたるを悲まさるを得す、遂莫吾人は本問題の解決は、實に前途遼遠にして目堵し難きを思ふと同時に今や我仁川の現狀が徒らに政府者の一時の氣安め言葉を空頼みに其成行に委せ、或は一に政府の處置を待つに果報は寢て待ての式の安閑主義を採るは、斷して我居留民が本問題の解決を圖るべき唯一の手段にあらさるを信す、築港期成同盟會員夫れ眠れるか、死せるか、嗚呼、

土地交換と民長

我仁川居留民は今や現在の陸地に於て擴張發展するの餘地なく、海岸埋築地さへ今は全く使用者充實して寸隙を餘さゞるに至れり、然るに現在の佛國敎會堂下韓人部落六千餘坪の土地は仁川の中央に位せるを以て市街振展の好地位たるは勿論市街の風致を害し、民團の公衆衛生施行上に多大なる障害を來し居りしにも不拘所有者の外國人なると、韓人の部落たるとの故に依り、今日迄該區域を犯す能はざりしが居留地理事者は今回或條件を附して民團所有土地と交換の交涉を開始し着々其歩武を進めつゝあり若し此交涉にして圓滿なる解決を見るに至らんが道般の障害は全々除去するを得べく土地發展上に及ぼす効果は蓋し多大なるものあらん

吾人は佛國人たる土地所有者が徒らに我に對して或一種の障壁を設くる事をなさす、必ずや仁川發展の自然の趨勢を尊重して以て我交涉に應諾すべきを確信す、從つて之れが折衝の任に當れる富田民長が老後の功勞は以て仁川發展史上長へに紀念さるべき價値なしとせんや

●賊徒邦人を傷く　冷井浦に草賊襲來せし由は昨紙に略報せしが尚ほ同地よりの詳報によれば去る九日午後八時頃江華島駐在巡査松村春一氏外一名は開城方面に出張の歸途冷井浦附近にて便船を待ち合せの爲め高井某方に休憩中突然賊徒二十餘名襲來したり夫れと見るや居合せし我邦人男女五名は急ぎ溫室内に難を避け男子は極力應戰せしこととて石川某は面部に散彈を受けて卒倒し高井某の妻は腹部及び臀部に銃創を負ひたり賊は約一時三十分間射擊を繼續して去り三十分位を經て又も襲來し又去つて又來り今度は高井方を包圍し附近の家屋に三四ヶ所放火し小銃を亂發せしが我邦人は僅に隙を得て裏より一同逃れ去り韓人の宅に潜匿したるも危險なるを以て又他に轉し漸くにして東天紅を告げたるにより戶外に出て見れば已に賊の隻影だも認めざりしが察する所此の賊は各地の無賴漢が自から群を爲し此の地へは船にて來りしものゝ如し尚は聞く所によれば賊は此の夜里長を捕へて毆打し金五千圓け調達し明晚中に山手のバザーといふ大樹のある所に持ち來れと嚴命したりしといふ松村巡査は此の日負傷者を江華島に連れ歸り守備隊にて治療を受けしめつゝあり此の報京城に傳はるや金本少尉は兵卒若干名を率い三浦憲兵中尉は憲兵若干名を連れ同地に向ひしが賊の踪跡は未だ明かならずといふ

●協贊會閉會式　京城博覽會協贊會にては博覽會も最早や結了すべきに付來る十六日午後一時より本町座に於て同會の諸報告を兼ね閉會式を擧行すると云ふ尙は當日は三遊亭千朝の落語及藝妓の手踊等の餘興ある筈なり

●韓國中央農會總會號　去卅一日當地花月樓に於て第一回總會を開きたる韓國中央農會は同總會に於ける伊藤統監其他の來賓演說、講演、會員談話、總會記事等を輯め來る廿日臨時增刊總會號を發行する由

●新聞發行の計劃　大分縣下毛郡中津町の者にして目下當地南署石井洞に滯在する淸水某は大韓商報と題する週刊新聞を發行せんと運走中なり

●窃盜賭博喰逃　惡い事には手も口も出す、長崎縣西彼杵郡瀨川村の濱田政五郎(卅一)といふ痴漢は既に本籍地に於て賭博と窃盜の處刑を受けたる者なるが何時の頃よりかこの韓國に流れ來り龍山の山下善奈方にて銀時計を盜み取り次には京釜線西井里驛附近の村田芳松宅に忍び入つてはピストルをせしめ當地本町二丁目の飮食店松田千代方にて無錢遊興の揚句いよいよ喰逃の曲藝を演ずる所を取押へられ牢屋の內に繋がれたり

●た灸の數々　富山縣平民目下當地太平町三丁目指物職大原松二郎は店先へ材木を排列して科料五十錢▲福岡縣平民目下當地太平町三丁目無職淸永市助は許可を得すして居宅上層に二階を建造し同一圓五十錢▲南大門通三丁目雜貨商長谷川利三郎は店先に木炭及び雜物を堆積して同五十錢に處せられたり

●虎病死体を持込む　仁川沖の某小島（島名不詳）に於て韓人の虎拉列に罹り死亡せるものありしが昨日韓人は帆船に右死体を搭せて仁川に持込みたるに依り仁川署に於ては檢視消毒の上成規の手續をなせり

●氣儘身儘となつて歸國す　或る事情の爲めに芦か散る浪花の浦をあとに見て虎の伏すてふ聞くも恐ろしき韓國に漂浪ひ來り一雙の玉手を千人の枕て貸して花の晨は窓吹く風に浮世の味氣なきを忍び月の夕は庭にれく露の命いかに成り行くべきかと明暮思ひに沈み漢江の水たゝへて胸に逍瀨はなけれど不幸の身は是非もなくこれも天運の定まる所と諦めて勤め大事と吳客越人誰彼れの差別なく愛嬌を振り蒔き新町高島屋の一助と粹士の仲間に喧傳せられし大坂北區紅梅町の長谷川トミは頃日漸く足を洗つて久方振りに戀しなつかしの故鄕に歸ると之は當人は定めて嬉しきことゝならんもそんじよ其所らには掌中の珠を失ひたらんがごとくに落膽する人々もありぬるなるべし

●本町座本日の藝題　本町座本日の藝題は大阪毎日新聞菊池幽芳氏作（筆子）全篇にして其役割は左の如し

醉漢權太郎（新田）、島崎花子（西本）、學校小使藤吉（大島）看護婦乙村君子、娘たき（佳）老婆たどく、小田壽美子、筑紫親明（橫山）水野肇子（吉岡）車夫金肇（谷）院長長濟博士（中澤）書生今出川金吾、新聞記者中村（井上）商業學生徒戶田信一（保田）看護婦今村文子（小泉）島崎賢輔、植木重作（靑木）美術學生龍山（北山）淑女學教師阿川瑞彥（三木）友人宮地季子（三國）島初枝子（三井）若者喜八（淸水）雇婆たまき（森）美術家皐月文雄（北村生駒）

急告

京城理事廳令達第四號に基きたる塵芥容器は京城民團役所の檢定を經て多數製作罷在左記大廉價にて販賣可仕候間此際陸續御用命伏て奉希候

價格寸法

一號 金四圓八拾錢 橫二尺二寸 高二尺八寸 巾三尺五寸

二號 金三圓八十錢 橫一尺八寸 高二尺五寸 巾三尺

三號 金二圓八十錢 橫一尺五寸 高二尺四寸 巾二尺五寸

四號 金一圓八十錢 橫一尺一寸 高一尺九寸 巾二尺

發賣元 京城南大門外（鐵道管理局前） 東京伊藤出張所

塵芥容器 京城西小門內 製作工塲

海軍御用達 大阪商船株式會社仁川支店 專屬荷客仲次店 日本海上運送保險株式會社 仁川代理店

慶田組輸出部 仁川本町壹丁目 電話四十二番 電信符號ケイタ又ハケ

大阪商船株式會社仁川支店 專屬荷客取扱 通關並に鐵道運送 帆船運送艀舟業

慶田組荷捌部 仁川海岸通 電話七十二番 電信符號ケイタ又ハケ

慶田組濱出張所 電話二百七十八番

慶田組京城出張所 京城南大門外二丁目 電話九百四十九番

電話貳貳八番 開通

一陸送運搬請負

今般電話開通致候に就ては親切叮嚀を旨として御便宜を計り精々勉强仕候間荷に倍し御用命の程伏て願上候

京城南大門外一丁目 姫野荷馬車部

本店 仁川停車塲通（電話三二番）

原金旅館

支店 京城南山町（電話一〇七番）

南山町二丁目（梳村病院前）

貸席 待合 まつ乃花

客室は清潔にして叮嚀なるは本店の特色に御座候



本店 東京市日本橋區兜町

內地支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市

韓國支店及出張所 仁川、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

清國出張所 下關、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山

平壤、大邱、開城、城津、咸興、馬山、鏡城

安東縣

株式會社 第一銀行京城支店

電話番號 營業部 一一一番 當座用 同 一二番 營業部 三三三番 國庫部 六一二番 用度係 六二二番 分拆所 六二三番

總支配人 市原盛宏
副支配人 國庫部長 三島太郎
副支配人 調査部長 竹山純平
副支配人 營業部長 木村雄次

資本金五百萬圓

横濱火災海上運送信用保險株式會社

諸積立金百四十餘萬圓

大阪市東區高麗橋

仁川代理店 秋田商會

大阪支店（電話一七三、二一六）

各煉瓦工塲及精米所其他諸工塲 ストーブ及風呂塲並ニ調理用炭

筑豊 唐津 石炭販賣

日本産 無煙炭 近日中入荷

支那人製及韓國製 日本型

淺野セメント卸小賣

煉瓦大販賣

京城長谷川町（小公洞）

石炭商 岡田商店

店主 岡田伊太郎

販賣所 龍山埠頭 岡田貯炭部

綿類卸 兵ニ新蒲團

京城明治町二丁目 唐川商店

銀行一般業務精々御便利に取扱申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 七拾貳萬圓

京城南大門通（電話四二〇）

株式會社 十八銀行京城支店

本店 長崎市榮町

支店出張所

韓國 京城、仁川、釜山、羅州 龍山、木浦、元山、群山

日本 大阪、佐世保、五島、熊本、嚴原、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口金壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

一石炭
一セメント
一パインアップル

右新荷着仕候間多少に不拘御用命願上候

三井物産合名會社

京城出張所（電話二十六番）

仁川出張所（電話六十三番）

韓國唯一滑稽雜誌

朝鮮パック

十一月三日發行 第貳號 定價十八錢

「御役所の晝夜」「大屋さんの居眠り」「京城の放尿嚴禁」「新曲の流行（理科讀本）」「京城料亭勿驚十三萬圓」「手長の韓人」「副統監の着任前後」「日坊の韓國金貨」「昨今の京城」「デレ助の失敗」「韓妻の末路」「嘆いものづくし」「朝鮮風俗第二樂田舍の夕照」

表紙 東天旭光、中繪 雨農嘆聲

「パックの京城」「樂天君と花月姐者」「白鼠の神詣」「小女を統盛に獻げん」「本紙に對するの批評の批評」「陪審錄」「韓婦の韜智」「宮中の御戲れ」「闇黑の鐵道管理局」「珍案パック式ふんぞ―（人助けの爲め）」「京仁見立番附」「韓國全線滊車時間表」「珍な雜報」「なかきせる」

京城南小町二丁目 朝鮮パック社

冬物新荷着

大島絣に絣 東京香取屋下駄 東京中島屋下駄 都物染珍柄冬物 其他貴婦人用化粧品いろ／＼

今般冬物大賣出し致し候處皆々樣の御引立に預り例年になき上景氣に候間賣出しの御禮として來る十二日より十五日迄正札より五分引仕り候間何卒例に比し賑々敷御來店御購求の程伏而奉希候

本町三丁目 大曲呉服店（電話百二十五番）

熊平製造金庫

東京 竹內製金庫

大阪二重瓶並ニ同轉式 消火器

韓國販賣部 京城本町二丁目 熊平商店 電話六二四番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目

支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店（電話五八番）

爲替取組先

畿內	二十七ケ所
東山道	十三ケ所
山陽道	七十五ケ所
南海道	二十三ケ所
北海道	五ケ所
臺灣	二ケ所
東海道	二十八ケ所
北陸道	十ケ所
山陰道	十三ケ所
西海道	三十ケ所
韓國	九ケ所
清國	一ケ所

하아로 ハーロー

協同組滊船元扱 仁川出帆廣告

仁川海岸通 電話五二番

協同組回漕店

京城南大門外通 電話一四三番 電話七〇三番

協同組支店

● 門司神戸大阪行 甲丸 十一月 日午後四時出

● 門司行 九州丸 十一月廿三日午後四時出

● 鎭南浦行 龍坤丸 十一月 日後四時出

● 仁川群山線（濟州島巡航）三省丸 陰暦毎月一、六の日朝出

● 仁川海州線大湖芝行 三省丸 陰暦毎月四、九の日朝出

● 仁川港內曳船の依頼に應ず

右航路以外何れの地方にも確實なる取引店有之候に付海陸連絡運送并に當地稅關輸出入手續共懇切御便利に取扱仕候

大阪商船株式會社 仁川出帆廣告

仁川支店 電話一二番

切符發賣所 仁川稅關波止場出張所 京城本町通り角發賣所 荷客扱店 慶田組

● 關門、神戸、大阪行 安平丸 十一月 日前十時出

● 關門、宇品、神戸、大阪行 京城丸 十一月 日前十時出

● 群山、木浦、馬山、釜山、關門、神戸、大阪行 咸興丸 十一月十八日前十時出

● 群山、木浦、馬山、釜山、關門、神戸、大阪行 本浦丸 十一月廿二日後五時出

● 千賀丸 十一月十九日後五時出

● 筑後川丸 十一月廿六日後五時出

● 木浦、釜山、郷之浦、長崎行 木曾川丸 十一月廿五日後二時出

● 長崎行 信濃川丸 十一月十七日後一時出

● 鎭南浦、大連行 木曾川丸 十一月廿日前十時出

信濃川丸 十一月 日前十時出

● 鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 咸興丸 十一月 日後一時出

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番

仁川海岸通 郡回漕店 貨物及船客取扱店 電話三九番

京城南大門通 巴商會 電話三〇六番

● 群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 浦汐丸 十一月廿四日後一時出

第一オハヨ號 十二月五日後三時出

大連、大沽行 酒田丸 十一月 日後三時出

山東丸 十一月十九日前九時出

高砂丸 十一月二十八日後一時出

● 鎭南浦行 第一オハヨ號 十一月廿七日後三時出

● 元山、城津、浦鹽行 弘前丸 十一月廿日

注意 御乘船ノ際ハ稅關波止塲ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事